

8 長期借入金の元金返済に必要なキャッシュフローは

単月変動損益計算書(単位:千円) 年 月
税金を考慮した場合

今月のキャッシュフローはいくらか(税金考慮約40%)

$$\begin{aligned} &\cdot \text{今月経常利益} - \text{今月経常利益} \times 40\% + \text{今月減価償却費} \\ &= \text{今月のキャッシュフロー} \\ &[\quad] - [\quad] + [\quad] \\ &\quad \quad \quad (\text{経常利益} \times 40\%) \quad \quad \quad = \text{【 } \quad \text{】} \end{aligned}$$

今月の長期借入金の元金返済のために必要なキャッシュフロー

$$\begin{aligned} &\cdot \text{今月の長期借入金の元金返済額} = \text{必要月額キャッシュフロー} \\ &[\quad] = \text{【 } \quad \text{】} \end{aligned}$$

税金を払って更に借入金返済に十分なキャッシュフローですか

A不足する場合(あといくらのキャッシュが必要か)

$$\begin{aligned} &\cdot \text{必要月額キャッシュフロー} - \text{今月キャッシュフロー} = \text{今月不足キャッシュフロー} \\ &[\quad] - [\quad] = \text{【 } \quad \text{】} \end{aligned}$$

B余裕がある場合(返済可能)

$$\begin{aligned} &\cdot \text{今月キャッシュフロー} - \text{必要月額キャッシュフロー} = \text{今月余裕キャッシュフロー} \\ &[\quad] - [\quad] = \text{【 } \quad \text{】} \end{aligned}$$

注) 税金は平成11年4月1日以後開始する事業年度より約30%ほどになります。利益の約7割が手元に残ることになります。節税より、キャッシュフローを蓄積する時代に入りました。